

2018年10月31日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、「DATA CAMP 2018 TOKYO」を開催
“共創型”によるデータビジネスを推進するイベントを実施、
データ活用のビジネス戦略を担うプレイヤーとの新たな“出会いの場”を創出

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子真吾、以下 凸版印刷)は、より多くのプレイヤーと“共創型”データビジネスを推進するための新たな“出会いの場”として、イベント「DATA CAMP 2018 TOKYO」を2018年11月14日(水)に開催いたします。

各講演では、データ活用のビジネス戦略を担うキープレイヤーが登壇し、進化する様々なデータ活用テクノロジーを組み合わせた共創型データビジネスの未来像を描きます。

■背景

デジタル化社会においては、データを起点としたビジネスのデジタル変革が求められており、多くの企業により「データ活用のための投資」や「最新のAI技術導入」が進められています。

しかし、未だ多くの企業はデータの量を増やすことに終始し、十分にビジネスに活用しきれていないという課題を抱えています。

データビジネスの推進に「スピード」や「スケール」を求めるには、自社単体で自走させるのではなく、様々なテクノロジーや多様なプレイヤーとの共創による開発・運用が必要になります。

今回のイベントでは、第一線で、共創型でのビジネス開発や、共創型でのデータ連携・データづくり、共創型での組織づくりなどを実践しているキープレイヤーが登壇し、共創型のデータビジネスのあり方を考えます。

凸版印刷は、この場を通じて生まれたネットワークを活かし、共創型データビジネスを推進していきます。

“共創型”のデータビジネスを考える

DATA CAMP

2018 TOKYO

日時 2018.11.14 Wed

場所 フクラシア丸の内オアゾ

■セミナーテーマおよび講演者

(1) “共創型”のデータビジネスを考える

・保科 学世氏

アクセンチュア株式会社 アクセンチュア・デジタル・ハブ統括 マネジング・ディレクター

・梅川 健児

凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部 トップアンアイデアセンター
コミュニケーションデザイン本部 本部長

(2) DMP/CDP を活用した共創型のデータ連携

・加藤 英也氏

株式会社 Legoliss 執行役員

・堀内 健后氏

トレジャーデータ株式会社 マーケティング担当ディレクター

(3) AI 品質をつくる教師データ作成の最前線

・Aya Zook 氏

DefinedCrowd Chief Business Development Officer and GM of Asia-Pacific

(4) データを起点としたビジネスの再構築

・家中 仁氏

株式会社 ARISE analytics 代表取締役社長

(5) エッジコンピューティングと AI で創るデジタルストアの未来

・川村 秀憲氏

北海道大学 大学院教授 博士(工学)

・土田 安紘氏

AI TOKYO LAB 株式会社 CTO 兼 AI HOKKAIDO LAB 所長(弁理士)

(6) AI のスピードスタートを実現するモデル設計

・筒井 直人氏

株式会社 アイズファクトリー 取締役 CAO

■イベント概要

名称	DATA CAMP 2018 TOKYO
日時	2018年11月14日(水)14:00~17:40 (開場 13:30)
場所	フクラシア丸の内オアゾ 16階 ホール A 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビルディング 16階
定員	200名
参加費	無料(事前登録制)
予約方法	下記 URL より申込可能 http://toyokeizai.net/sp/dc20181114/ ※ 最新情報は上記 URL にて随時更新 ※ 申込み多数の場合は、抽選の上、登録メールアドレス宛に連絡(当落の発表はメール連絡のみ) お問合せ先: 東洋経済新報社 コミュニケーション事業部 電話 03-3246-5599 (土日・祝日を除く 10:00~18:00)
申込締切	2018年11月6日(火)
主催	凸版印刷株式会社
協力	株式会社東洋経済新報社

- * 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。
- * 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のもので、その後予告なしに変更されることがあります。

以 上